

報道関係各位

平成30年12月7日

ケン・ブロック × モンスターエナジー主催 第7回「ジムカーナ・グリッド」

齋藤太吾とヨハン・クリストファーソンが優勝！



ドリフト界の伝説的ドライバーのケン・ブロックとモンスターエナジーが主催する「GYMKHANA GRID（ジムカーナ・グリッド）」が11月26日から12月1日まで南アフリカ共和国のヨハネスブルグで開催されました。今年で7年目を迎えた「ジムカーナ・グリッド」には約12ヶ国から合計48名の剛腕ドライバーが集い、ケン・ブロックが考案した左右対称のコースで熾烈なレースが繰り広げられました。RWD（リアホイールドライブ）クラス、AWD（オールホイールドライブ）クラスで、それぞれモンスターエナジーがサポートする齋藤太吾、ヨハン・クリストファーソンが優勝を果たしました。

RWDクラスでは地元ドライバーのラノ・バーナードやモンスターエナジー アスリートのバグシー、ジェイソン・ウェブなど名だたる選手が出場する中、日本のドリフト界を牽引する齋藤太吾が800馬力を誇るコルベットを轟かせ、「ジムカーナ・グリッド」初出場ながら見事優勝を掴み取りました。齋藤は「自分とコルベットの速さを証明するために参加して、きちんとやり遂げることができました！初めて参加して、優勝できたからとても嬉しいですよ」とその喜びを語りました。

AWDクラスでは四輪駆動車のトレードマークと言えるスライディングスタイルが炸裂する中、FIA世界ラリークロス選手権2連覇を果たしたヨハン・クリストファーソンが優勝を獲得しました。同じくモンスターアスリートでチームメイトのベター・ソルベルグとコマ数秒の熾烈なタイム争いを繰り広げましたが、僅差でヨハンが勝利し、2年連続のGRIDタイトル獲得となりました。ヨハンは「正直、ここ（表彰台）に立つことができ、心の底からわくわくしているよ。2年連続の世界ラリークロスのチャンピオン獲得。そして2年連続のGYMKHANA GRIDでの勝利。これ以上何か望むことがあるかな？」と自身の功績を振り返りました。

今後も活躍が期待されるモンスターエナジー アスリートにぜひご注目ください。

インタビュー詳細：<https://www.monsterenergy.com/jp/ja/news/grid-2018-smashes-record-as-saito-and-kristofferson-win-in-south-africa>

全試合結果：http://www.chronomoto.hu/livetiming/pdf/?eventid=20181201_gymkhana_grid

全試合録画：<https://youtu.be/AW3qOMS6P54>

■画像

